

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220562020050	科目番号 / Course code	05620200
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16071_024		
授業科目名 / Course title	健康・スポーツ科学 / Science of Health and Sports		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyuhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 小川 さやか, 峰松 和夫 / Kazuo Minematsu, 中田 奈々, 尾崎 幸生		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyuhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 小川 さやか, 峰松 和夫 / Kazuo Minematsu, 中田 奈々, 尾崎 幸生		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 選択科目, A健康コンディショニング科目, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目, 査定外		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	古林正和 : masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp 峰松和夫 : minematsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	古林正和 : 保健・医療推進センター 峰松和夫 : 教育学部本館111室		
担当教員TEL/Tel	古林正和 : 095-819-2213 峰松和夫 : 095-819-2359		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 11時 ~ 12時 水曜日 16時 ~ 17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	健康や身体運動に関する身体的、生理的特性、またはその社会的側面などについて理解を深め、実生活で役立つ知識の獲得をねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	生活習慣に関連する身体的・精神的疾病の基礎を説明できるようにする。生活習慣と健康、身体運動と健康の関連性を説明できるようにする。感染症について説明できるようにする。生涯に亘る健康の維持・増進のために、個々の生活習慣を振り返り、適切な生活習慣を確立することができるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのテーマに関するレポートまたは小テストを総合して評価する。毎週のレポートあるいは小テストは、10点満点で評価する。15回の合計150点のうち90点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康、生涯スポーツ、身体運動、生活習慣病、禁煙、心の健康、青年期の性、歯周病		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書：学生と健康，（編）国立大学等保健管理施設協議会，南江堂
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	レポート(小テスト)提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ずレポート(小テスト)を提出してください。15回中6回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	飛奈 美耶子/保健体育科教員/ 地域総合型スポーツクラブでの指導/ 渡邊 勝平/長崎市障害福祉センター『スポーツ・レクリエーション講座』 利用者を対象として、15回にわたってスポーツやレクリエーションを指導した。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基礎的知識・技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基礎的知識・技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健・医療推進センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 森藤 香奈子/助産師/産褥期・新生児期における母体と新生児への看護に必要な看護技術演習/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9月29日)	飛奈美耶子：運動と健康
第2回 (10月6日)	飛奈美耶子：運動とエネルギー
第3回 (10月13日)	飛奈美耶子：体力トレーニング法
第4回 (10月20日)	飛奈美耶子：スポーツ障害及び救急処置法
第5回 (10月27日)	渡邊勝平：障がい者スポーツ 1
第6回 (11月10日)	渡邊勝平：障がい者スポーツ 2
第7回 (11月17日)	渡邊勝平：障がい者スポーツ 3
第8回 (11月24日)	古林正和：青年期に健康を考える
第9回 (12月1日)	中道聖子：感染症 1
第10回 (12月8日)	中田奈々：感染症 2
第11回 (12月15日)	木下裕久：心の健康 1
第12回 (12月22日)	小川さやか：心の健康 2
第13回 (1月5日)	尾崎幸生：歯と歯ぐきの健康
第14回 (1月12日)	森藤香奈子：青年期の性
第15回 (1月26日)	古林正和：まとめと総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011050	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 1 年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 5 0 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 17時 ~ 18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の存在意義ならびに基本原理 (普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄) を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。なお、コロナ禍の影響により、対面ではなくリアルタイムオンラインまたはオンデマンドでの授業、あるいはそれらの混合型での授業となる可能性がある。		
授業到達目標/Course goals	受講生が、憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、自国の憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え考えるようになること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1 つ以上 3 つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート 4 0 点、定期試験 (憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語るができる能力等を観る) 6 0 点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前授業 : 配布したレジュメに書かれている内容を、特にキーワードを中心に調べること (2 h) 事後学習 : レジュメや教科書をもとに授業の内容の理解度を深めること (2 h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】播磨信義・上脇博之・木下智史・脇田吉隆・渡辺洋【編著】『新・どうなっている!? 日本国憲法 憲法と社会を考える 【第3版】法律文化社 なお、毎回レジュメを配布する。また必要に応じて判例や参考文献の情報を発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> <p>担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造—立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220569000750	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	読書レポート(30%) 授業レポート(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード/Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ
第15回	原爆と部落とキリシタン

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581001050	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由専門科目, 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部(夜間主コース)1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館506		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため,知的活動への動機づけを高め,レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。</p> <p>他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。</p> <p>ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: 研究テーマに関する資料の読解(2h)</p> <p>事後学習: 授業での議論内容を踏まえての研究方法等の修正・追加の個人的研究等(2h)</p>		
キーワード/Keywords	社会的存在としての人間		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない。必要に応じて、担当教員がその都度教示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	主体的かつ積極的に授業に参加することを期待します。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。	A B
第2回	研究テーマに関する討議(1)	A B
第3回	研究テーマに関する討議(2)	A B
第4回	図書館ガイダンス	C E
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定	A B
第6回	レポートのまとめ方について	C
第7回	実施研修(1)	B E
第8回	グループごとの活動(1)	A B D
第9回	グループごとの活動(2)	A B D
第10回	グループごとの研究の中間報告	A B D
第11回	実地研修(1)	B
第12回	グループごとの活動(3)	A B D
第13回	グループごとの研究のまとめ(1),学修ポートフォリオについて	A B
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)	A B D
第15回	グループごとの研究の最終報告	A B D

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581001051	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由専門科目, 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgakuの後に教員共通のドメイン名をつける		
担当教員研究室/Office	本館5階512研究室		
担当教員TEL/Tel	開講時に必要に応じて周知		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に周知		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため,知的活動への動機づけを高め,レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。 2. 自分の考えについて,わかりやすく伝え,討論することができる。 		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	セミナーの活動への主体的・積極的な参加態度(50%)およびレポートの完成度(50%)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前: テキスト担当部分を読み他のメンバーに報告できるようにまとめる。(予想される学習時間2時間)</p> <p>事後: テキストでわからないところを別の文献で調べて理解する。(予想される学習時間2時間)</p>		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	田崎晴明『数学 - 物理を学び楽しむために-』Online book.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回長崎大WiFiにつながるPC必携のこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 ~ 14回	報告とディスカッション
15回	最終報告会

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581001052	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由専門科目, 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問事項があれば、上記の岡田宛のメールアドレスに送ってください。その際、件名には、学生番号と氏名を書いてください。「件名なし」のメールに対しては返事をしないこともあります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[予習] 自分が参加するグループのテーマに関する情報を新聞、書籍、インターネットであらかじめ調べてきてください。(2h) [復習] 授業で取り上げたトピックスに関連した書籍や論文を探し、読んでください。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	第2回目で皆さんが持参した記事のコピーが教材となります。ですから、人数分の印刷をしてきてください。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特にありません
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	最初は戸惑うこともあると思いますが、お互いに声を掛け合うなどして、話しやすい雰囲気をつくるように心がけてください 大学での今後の学習のひな型となる大切な授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。 第2回目のセミナーで、各自が興味関心をもった記事について報告してもらいます。その後、第3回目で、グループ分けをしますが、このとき自分が関心を持った記事の研究にならない可能性があります。この点はあらかじめご了解をお願いします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	各回の授業内容は図書館ガイダンスの日程（実施しない場合もありえる）などに応じて、変更する可能性があります。毎回のゼミでもお知らせするつもりですが、連絡に注意してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：自己紹介、学習ポートフォリオ
第2回	研究テーマに関する討議(1) 各自が、新聞やネットから興味関心をもった記事の一つずつ持ちより、それについて紹介する（各自3分程度）。各自、自分が興味関心をもった記事を、人数分印刷して持参してください。自分が調べてみたいテーマを次回までに考えること。
第3回	研究テーマに関する討議(2) 前回のセミナーで紹介された記事の中から自分が興味関心を持ったテーマについて報告をする。これに基づいて、2~4つ程度のグループを作り、具体的なテーマや役割分担を決める。
第4回	図書館ガイダンス（予定が取れれば実施。別日になるかもしれないが、その時は、全体の予定を調整する）
第5回	レポートのまとめ方について
第6回～第9回	グループごとの活動
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回～第13回	グループごとの活動
第14回	グループごとの研究のまとめ
第15回	グループごとの研究の最終報告とレポート提出

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581001053	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由専門科目, 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部(夜間主コース)1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階		
担当教員TEL/Tel	373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため,知的活動への動機づけを高め,レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。</p> <p>他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。</p> <p>ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。無断欠席は認めない。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>準備学習: 授業内容の理解と発表の為に,事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行うこと。(2h)</p> <p>復習学習: ゼミ内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習をすること。テーマに関するレポートの作成。(2h)</p>		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	講義は、進捗状況により変更することがある。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1), 学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220582001050	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎 / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館12(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間前後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jpにて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活する上での「生きる力」の一つとなっています。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のための道具として不自由なく扱うためのスキルと能力とが必要不可欠なものとなります。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得します。</p> <p>授業は、講義と演習を組み合わせで進めます。また、実施方法としては、以下の方法の組み合わせを想定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 対面授業 (教室で直接対面しての授業) (2) リアルタイムのオンライン授業 (Web会議システムを使用した遠隔での授業) (3) オンデマンド授業 (用意された動画や(1)(2)の記録を視聴する授業) <p>講義内容を確実に理解するために、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題が存在します。講義では、主体的学習促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> <p>授業は教室での対面形式を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン形式に変更される場合があります。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における情報科学科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱うための、基本的な情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる。 ・情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティについて基本的な考え方を理解し、ネットワークを適切に利用できるようになる。 ・インターネット (Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作や活用の方法を説明できるようになる。 ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集するとともに、それを分析、活用できるようになる。 ・自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や適切なネットワーク環境への接続ができるようになる。 		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・定期試験30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 ・演習課題60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 ・授業への参加状況 10% 原則として全回出席が前提となります。正当な理由で欠席する際には欠席届を提出願います。なお、作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点として扱います。これらを、100点満点に換算し、60点以上を合格とします。つまり、課された課題の提出状況によっては、定期試験の結果と関係無く、不合格となることがありますのでご注意ください。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の事前、事後で以下に沿って学習を行うこと。 ・文書作成、表計算、プレゼンテーション (事前) 事前に予習課題を提示します。指示された内容を教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出してください(2時間の学習)。 (事後) 授業で配布された資料や講義内容を整理し、授業の内容について理解を深めて下さい。予習課題の内容に誤りがあったものは訂正し、LACS上で再提出してもらいます(2時間の学習)。 ・コンピュータとネットワークの基礎等 (事前) 指示された教科書の内容について熟読してください(2時間の学習)。 (事後) 授業で配布された資料や講義内容を整理し、授業の内容について理解を深めて下さい。授業中に別途指示された課題に取り組んでもらうものもあります(2時間の学習)。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 「情報リテラシーWindows11・Office2021対応」、FOM出版 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界 改訂版」、培風館、2021年、ISBN978-4-563-01608-1
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 11及び(在学期間中、本学が無償で提供する) Microsoft Office 365 Apps for EnterpriseがインストールされたノートPC、及びACアダプタを毎回必ず使用してください。再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講してください。 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/topics/file/477file_20211222155901.pdf
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むようにしてください。 なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。リアルタイムのオンライン形式の授業回で受講が不安定な際には、大学情報環境接続説明会の資料に従って相談や問題解決を図って下さい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参してください。コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 斉/ソフトウェア開発系企業での勤務経験/ソフトウェア開発系企業での勤務経験を有する教員がコンピュータに関する基本的な原理や情報に関する基礎理論について解説する。

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第01回 4月14日	<p>【ガイダンス】</p> <p>授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及びMicrosoft Office365他アプリケーションウェアのセットアップ状況の確認、大学情報環境接続説明会での説明事項の確認、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習</p> <p>初回の授業ですが、ノートパソコンの操作が必要となることにご注意願います。</p>
第02回 4月21日	<p>【PCとLACSの活用】</p> <p>LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ</p> <p>Microsoft Wordの基礎、Microsoft Excelの基礎、Microsoft PowerPointの基礎</p> <p>【電子メールの利用】</p> <p>電子メールの利用上のマナー、電子メールの環境設定及び操作実習</p>
第03回 4月28日	<p>【電子メールの利用】</p> <p>電子メールの利用上のマナー、電子メールの環境設定及び操作実習</p> <p>【時間外でのオンデマンド学習：情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】</p> <p>(情報セキュリティ関連)</p> <p>情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策</p> <p>(情報倫理、法律関連)</p> <p>情報倫理、ネチケット、個人情報保護など</p> <p>オンデマンド形式での実施となります。4～5月で必ず視聴すること。</p>
第04回 5月12日	<p>【コンピュータとネットワークの基礎1】</p> <p>コンピュータの構成・動作原理の理解</p> <p>【Office系ソフトウェアの基礎】</p> <p>Microsoft Word、Excel、PowerPointの基本操作</p>
第05回 5月19日	<p>【プレゼンテーション1/2】</p> <p>Microsoft PowerPointの基本操作、構成変更、動作設定、印刷</p>
第06回 5月26日	<p>【表計算1/4】</p> <p>Microsoft Excelの基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定、表の印刷</p> <p>レイアウトの設定・印刷方法、グラフの作成</p>
第07回 6月 2日	<p>【表計算2/4】</p> <p>データの検索、複数シートを使ったデータ処理、関数の応用</p>
第08回 6月 9日	<p>【表計算3/4】</p> <p>表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成</p>
第09回 6月16日	<p>【表計算4/4】</p> <p>ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用</p>
第10回 6月23日	<p>【情報のデジタル化】</p> <p>情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化</p>
第11回 6月30日	<p>【文書作成1/2】</p> <p>Microsoft Wordの基本操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、ページ設定、印刷</p>
第12回 7月 7日	<p>【文書作成2/2】</p> <p>ワードアート挿入、スタイルの設定、校閲機能</p>
第13回 7月14日	<p>【コンピュータとネットワークの基礎2】</p> <p>コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド</p>
第14回 7月21日	<p>【プレゼンテーション2/2】</p> <p>別アプリのデータ利用、共通デザインの設定</p>
第15回 7月28日	<p>【総合演習】授業の振り返り</p>
第16回	<p>【定期試験】まとめ、試験 8月4日を予定しています。</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586014150	科目番号 / Course code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12121_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心な社会への取組 (リスク社会と社会科学) / Risk Society and Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 片淵キャンパス東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 18:00 ~ 19:30 (研究室に来室の際は事前にメール等で連絡をください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会科学の側面から社会システムの機能や役割を把握することで、リスクに向き合うための課題や指針を理解する。		
授業到達目標/Course goals	需要、供給、市場といった経済学の基本的概念を理解するとともに、企業の様々な戦略や役割についてこれら経済学の概念を用いて理解できるようになる。また、政府による企業に対する規制や法の根拠や在り方について、自らの見識を持てるようになることを目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60%、課題レポート40%。合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 提示された授業資料に目を通しておくこと (1h) 復習: 授業資料を再読し、内容をまとめること。また参考資料や練習問題を解くこと。 (3h)		
キーワード/Keywords	需要、供給、市場、独占、複占・寡占、企業戦略		
教科書・教材・参考書/Materials	授業に必要な資料は別途配布する。なお特定の教科書は用いないが、必要に応じて下記の参考文献を適宜利用する。 1. 小田切宏之 (2019) 「産業組織論」有斐閣 2. デビット・ベサンコ、デビッド・ドラノブ、マーク・シャンリー (2002) 「戦略の経済学」ダイヤモンド社 3. 丸山雅祥 (2017) 「経営の経済学 (第3版)」有斐閣		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビなどで報道される企業に関する記事やニュースを、日々チェックするように心掛けるようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	当該授業では担当教員の実務経験をもとに、事業規制などの様々な政府政策についても解説を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	需要その1
第3回	需要その2
第4回	供給その1
第5回	供給その2
第6回	完全競争市場と社会厚生
第7回	市場構造・市場行動・市場成果
第8回	独占その1
第9回	独占その2
第10回	複占・寡占その1
第11回	複占・寡占その2
第12回	企業数の決定と参入障壁その1
第13回	企業数の決定と参入障壁その2
第14回	企業の競争戦略その1
第15回	企業の競争戦略その2
第16回	総括（定期試験を含む）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6, 火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2022/06/11 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587026901	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会の追求 (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 栗原 慎太郎 / Kurihara Shintarou, 大角 道子 / Ogaku Michiko, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 栗原 慎太郎 / Kurihara Shintarou, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuji-i nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科4F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7941		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 18:00~19:00 (事前にメールでアポイントお願いします)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医療、介護・福祉、感染症、遺伝等に関わる注目すべきトピックスや医療現場における課題を取り 上げ、医療現場における安全と安心について学習し、社会に貢献できる市民として求められる多様 な基礎的知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	1) 現在の医療、福祉のトピックスや課題を学び、国際・地域社会への関心を高め、社会に貢献でき る市民として求められる多様な基礎的知識を習得することができる()。 2) 高齢者、障害を有するもの、また、遺伝的疾患を有するものなどの多様性を理解することができ る()。 3) 高齢者、障害を有するもの、また、遺伝的疾患を有するものに対する差別、偏見をなくし、倫理 感を涵養し、責任ある社会人として意見を述べる()。 4) 立場が違うものの考え方を相互理解し、意見を遣り取りすることができる()。 5) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高めることができる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義で求められたレポートあるいは小テスト(90%)、講義への参加・貢献(10%)で総合的に 判定して成績評価を行います。授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格となります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習、自主学習の方法については、科目を通して共通の取り決めはありません。各担当教員 の指示に従ってください。		
キーワード/Keywords	医療、介護・福祉、感染症、喫煙、遺伝、医療過誤		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はなし。 各单元ごとに講義用資料を提供する。 随時、講義のテーマに関するURLや参考文献を提供する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全学モジュール1「安全で安心できる社会」を受講した学生		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新型コロナウイルス感染症の出現で社会が激変したように、医療の現場が適切に機能しないと社会は混乱します。さらに医療の現場には、感染症以外にも高齢化の問題、医療技術の発展に伴う倫理観や価値観の問題など課題は少なくありません。このモジュールでは、医療現場の具体的な課題や事例等を通して、医療現場の安全と安心の追求について考えていきたいと思います。また、各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用です。特に理由がない限り、講義には出席してください。レポートは出席評価にもつながりますので注意してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	石松 祐二/医師 (内科・呼吸器・感染症専門医) /実務経験に基づき、感染や医療情報の管理などにおける現代の医療の問題点を考える。 井口 茂/理学療法士 (地域包括ケアの実務経験など) /高齢者社会の介護・福祉の取り組みや高齢者の特徴や課題を学ぶ。 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/遺伝医療における専門職の役割と連携、遺伝カウンセリングについて学ぶ。 栗原慎太郎/医師 (感染対策および医療安全に関する業務に専従) /医療安全の基本的考え方や実践について学び、安心な医療・福祉が実践されるための仕組みなどを理解する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
4回	石松 祐二 (医学部保健学科教授) : 医療、感染症、喫煙 本邦では経済状況と公衆衛生の向上により、多くの古典的伝染病は減少してきた。また、医療技術の目覚ましい進歩により、従来不可能だった手術や薬物治療が可能となった。一方で、高齢者の増加に伴って免疫力の低下した患者が増加し、従来病原細菌と認識されなかった細菌が臨床の場で大きな問題となっている。さらに発達した交通網によって全世界的に感染症が蔓延する危険も併存する。こうした医療現場を取り巻く諸問題を通して、医療現場の安心について理解を深める。
4回	井口 茂 (医学部保健学科教授) : 介護・福祉、高齢者 わが国の高齢化は世界に類をみないスピードで進行している。加齢に伴う心身の低下は、生理的変化に基づくものであるが、それに加え様々な疾病の罹患、傷害の受傷により、その低下は著しいものとなる。とりわけ高齢者において介護状態となる原因は、加齢によるフレイル (虚弱) や骨折、変形性関節症等の運動器疾患が主である。本講義では、加齢変化のフレイルと転倒をとりあげ、その特徴と予防方法について教授し、高齢者における介護予防の方法について討議していく。
4回	栗原 慎太郎 (大学病院教授) : 医療の不確実性 : 合併症と医療過誤 医療技術は急速に発展しているものの、多様性が増すばかりで元来医療に伴う不確実性は減じているわけではない。むしろ医療の専門性の分化や高度化は医療の結果の不確実性を増す因子である。しかし、実際の診療現場では患者と医療者の間の理解に乖離があり、乖離を埋める努力はまだまだ十分ではない。本講では、医療現場における不確実性とマネジメントへの取り組みから医療の現実を俯瞰し、それを取り巻く医療者・患者・社会間の諸相を考察する。
4回	佐々木 規子 (医学部保健学科准教授) : 遺伝 遺伝医療は、近年急速に進歩しており、診断、治療、健康管理などにおいて幅広く応用されている。しかし一方で、未だ存在する遺伝に対する偏見や差別、遺伝情報の特殊性により遺伝の問題はより複雑化している。遺伝医療の現状を知るとともに、誰にでも起こり得る遺伝の問題について考える。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588007050	科目番号 / Course code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Course title	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab i.softbank.jp		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1. 動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 2. 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 3. 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 4. 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 5. 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(50%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各テーマ毎に配布する2種類のプリント（動物の行動分析総論、薬物乱用と薬物依存、学習・記憶試験、動物実験とデータ処理に分けて配布するものと、パワーポイントで提示する内容の印刷資料）を配布しますので、配布後は前以てプリントに目を通し、予習・復習を心掛けてください。また、毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした小テストを授業時間内に実施・回収し、その時に解答例を配布しますので、復習によって学習の完成度を高めます。この小テストの結果は、成績評価の一部に組み込みます（予習2h、復習2h）。
キーワード/Keywords	動物行動科学 動物モデル 強化スケジュール 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件としますが、考查受験資格に関わる授業出席時数については、長崎大学教養教育履修規程（第14条）に従います。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業科目名は「生物の科学」で内容は「動物の行動分析と推計学」であり、少し専門的と感じるかも知れませんが、教養教育としての一般教養レベルです。また推計学と言えば難しいのではと考えますが、簡単に理解できる初歩レベルです。授業では図表を多用したパワーポイントとハンドアウト資料で、優しく分かり易く説明しています。その日の復習小テストで理解度を確認しつつ進めていきます。そのため到達目標達成度は、2021年度ではAA、A評価が46.3%(AA14.6%, A31.7%)、最低限の到達目標に届かなかった受講者は4.9%でした(失格、欠席を除く41名中)。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/8 19:40-21:10	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義
第2回 4/15 19:40-21:10	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回 4/22 19:40-21:10	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス
第4回 5/13 19:40-21:10	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回 5/20 19:40-21:10	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回 5/27 19:40-21:10	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回 6/3 19:40-21:10	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回 6/10 19:40-21:10	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回 6/17 19:40-21:10	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回 6/24 19:40-21:10	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回 7/1 19:40-21:10	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法1
第12回 7/8 19:40-21:10	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法2
第13回 7/15 19:40-21:10	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法3
第14回 7/22 19:40-21:10	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回 7/29 19:40-21:10	全授業の総括
第16回 8/5 19:40-21:10	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	データサイエンス概論 / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
科目分類 / Course Category	数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1st grade		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kotaro [at] nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	Laboratory Room #205, 2F, School of Engineering Building #1		
担当教員TEL/Tel	81-95-819-2586		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	With the accelerating globalization of society and changes in the industrial structure, it has become necessary to cultivate human resources who can solve various social problems, discover new issues, and create new values from data in university education, regardless of their majors. In this course, students will learn the basics of data science for analyzing data in various fields.		
授業到達目標/Course goals	In order to understand why we study data science and how it is used in society, we need to be able to appropriately read and understand actual data and actual issues in society and make judgments. Therefore, we will learn the basic items of data science for processing, aggregating, visualizing, and analyzing data, and acquire the ability to appropriately grasp, analyze, and explain events in society.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	A total score of 60% or higher for all small tests will be considered passing.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Adequate review is assumed. (2 hours)		
キーワード/Keywords	Data Science		
教科書・教材・参考書/Materials	Materials will be available on LACS each time. Text book: "How to Walk in Data Science" (Shiga University Faculty of Data Science & Nagasaki University School of Information and Data Sciences), Gakujutsu Tosho Shuppan-sha		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	If you have any questions, please feel free to ask.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	An overview of data science: the role of data science, applications and utilization techniques of data science, data science in society
2	Basics of data analysis: how to acquire and manage data, histograms, box plots, means and variances
3	Basics of data analysis: scatter plots, correlation coefficients, regression lines, and points to note in data analysis
4	Data science methods: cross tabulation, regression analysis, Bayesian inference, association analysis
5	Data science methods and computer-based analysis: clustering, decision trees, neural networks, machine learning and artificial intelligence, data analysis using Excel
6	Computer-aided analysis: data analysis using R and Python
7	Applications of data science: marketing, finance, quality control, image processing,
8	Reflections on the class

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	データサイエンス概論 / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
科目分類 / Course Category	数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kotaro nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 工学部1号館 研究室205 教員室3		
担当教員TEL/Tel	095-819-2586		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっています。この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学習します。		
授業到達目標/Course goals	なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのか、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できることが必要であるため、データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	全小テストの合計(100点満点)が60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	十分な予習復習を前提とします。(各2h)		
キーワード/Keywords	データサイエンス		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回教材がLACSで公開されます。 教科書：『データサイエンスの歩き方』 学術図書出版社 滋賀大学データサイエンス学部・長崎大学情報データ科学部 共編(2022年3月刊行予定)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データサイエンスの概要を紹介します。データサイエンスの役割、データサイエンスの応用と活用技術、社会におけるデータサイエンス
第2回	データ分析の基礎について学習します。データの取得方法と管理方法、ヒストグラム、箱ひげ図、平均値と分散
第3回	データ分析の基礎について学習します。散布図、相関係数、回帰直線、データ分析での注意点
第4回	データサイエンスの手法について学習します。クロス集計、回帰分析、ベイズ推論、アソシエーション分析
第5回	データサイエンスの手法、コンピュータを用いた分析について学習します。クラスターリング、決定木、ニューラルネットワーク、機械学習と人工知能、Excel を使ったデータ分析
第6回	コンピュータを用いた分析について学習します。RやPython を使ったデータ分析
第7回	データサイエンスの応用事例について学習します。マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学
第8回	総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590001050	科目番号 / Course code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]CALL教室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時、またはメール、Lacsのメッセージで対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEIC形式の問題を使って、英語によるコミュニケーションの基礎となる英単語や英文法の知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	文法事項の復習し、問題演習の中で使用されている表現を使うことができるようになる。音声による情報をより正確に把握できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験30%、中間テスト30% 授業への積極的な参加状況(小テスト、課題等を含む)40% 以上により、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[予習]授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h/回) [復習]授業内容を復習して理解を深め、課題に取り組む。(2h/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	吉塚弘、他(著) Best Practice For the TOEIC L&R Test -Intermediate-(成美堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	欠席がある一定の回数以上に達した場合、期末試験を受験する資格がなくなります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1 Restaurants 人称代名詞
第2回	Unit 2 Entertainment 不定代名詞
第3回	Unit 3 Business 現在・過去の時制
第4回	Unit 4 The Office 現在完了
第5回	Unit 5 Telephone 前置詞 [時・期間]
第6回	Unit 6 Letters & E-mails : 前置詞 [位置・場所]
第7回	Unit 7 Health 数量形容詞
第8回	中間テスト
第9回	Unit 8 The Bank & The Post Office 自動詞と他動詞
第10回	Unit 9 New Products 接尾辞と品詞 形容詞
第11回	Unit 10 Travel 接尾辞と品詞 副詞
第12回	Unit 11 Daily Life 分詞構文
第13回	Unit 12 Job Applications 比較
第14回	Unit 13 : Shopping 受動態
第15回	Unit 14 Education : 関係代名詞
第16回	授業の総括 (定期試験)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590001051	科目番号 / Course code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 18:00 - 19:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語コミュニケーションでよく使われる表現を通じて、リスニング、ディクテーション、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 英語音声の発音上の特徴を理解し、実際に聞く、書く、声にすることを通じて、それを会得する。		
授業到達目標/Course goals	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のユニットの表現テストを行う。30点である。 音声の提出が35点。授業への参加、貢献度が10点である。 (オンライン授業の場合、授業ノート提出45点、音声提出35点、その他課題等20点) 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：毎回前回のUnitの表現テストがあるので準備してくること (2時間/回) 事後学習：授業での音声を何度も聞いて、音になれるとともに、複数回の音読練習をしてください。 最後に音読を録音したものをLACSで提出してください (2時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材は配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等は変更になるので留意されたい。 スマホを授業目的以外で使用していた場合、減点となる。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction 授業概要説明
第2回	I hope... 英語の音声：概要
第3回	look like 変化する音
第4回	as ... as つながる音
第5回	kind of 消える音
第6回	How do you like ...?
第7回	never ... until- b, vの音
第8回	It takes ... to ~ s, shの音
第9回	Shouldn't have + 過去分詞 thの音
第10回	I wonder ... (I was wondering if...)
第11回	Why don't you...? (Why don't we...? Let's... Shall we...?)
第12回	as soon as ...
第13回	give a person a call (give a person a... の表現)
第14回	It said/says that ...
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590003050	科目番号 / Course code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1)Input, Practice, Outputという3段階のステップで構成されたテキストを用い、段階を踏んでスピーキング力を鍛える。 (2)語彙、リスニング、スピーキング等のエクササイズによって総合的なコミュニケーション力の向上をはかる。		
授業到達目標/Course goals	リスニング活動及びリーディング活動を行うことによってゴールのスピーキング力を鍛え、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト、授業への取り組み70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前のテキストの予習(1時間/回)、次回小テストのための復習(30分/回)		
キーワード/Keywords	Input, Practice, Outputの段階を踏んだ英語学習		
教科書・教材・参考書/Materials	Speaking Steps (KINSEIDO)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/12)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 Speaking Steps: Unit 1
第2回 (4/19)	Speaking Steps: Unit 1
第3回 (4/26)	Speaking Steps: Unit 2
第4回 (5/10)	Speaking Steps: Unit 3
第5回 (5/17)	Speaking Steps: Unit 4
第6回 (5/24)	Speaking Steps: Unit 5
第7回 (5/31)	Speaking Steps: Unit 6
第8回 (6/7)	Speaking Steps: Unit 7
第9回 (6/14)	Speaking Steps: Unit 8
第10回 (6/21)	Speaking Steps: Unit 9
第11回 (6/28)	Speaking Steps: Unit 10
第12回 (7/5)	Speaking Steps: Unit 11
第13回 (7/12)	Speaking Steps: Unit 12
第14回 (7/19)	Speaking Steps: Unit 13
第15回 (7/26)	Speaking Steps: Unit 14
第16回 (8/2)	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590003051	科目番号 / Course code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) ポップスの楽曲を用いた教材を使用し、英語の歌詞を聞き、読みながら英語を学習する。 (2) リスニング及びリーディングの練習を行い、文法事項及び英語構文を学習する。		
授業到達目標/Course goals	楽曲を聞いて歌詞を聞き取れるようになる。語彙、文法事項を学び楽曲の内容を理解できるようになる。学んだ文法や構文を用い、コミュニケーションがとれるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト40%、授業への積極的取り組み30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前のテキストの予習(1時間/回)、次回小テストのための復習(30分/回)		
キーワード/Keywords	英語の曲を介して文法と構文を理解し、コミュニケーションにつなげる。		
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Learn English with Pop Hits! (SEIBID0)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	毎回、必ず予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9/27)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 4 (前期に扱わなかったUnitについて、1Unitを2回の授業で進めます)
第2回 (10/4)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 4
第3回 (10/11)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 4
第4回 (10/18)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 5
第5回 (10/25)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 5
第6回 (11/1)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 8
第7回 (11/8)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 8
第8回 (11/22)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 9
第9回 (11/29)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 9
第10回 (12/6)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 10
第11回 (12/13)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 10
第12回 (12/20)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 12
第13回 (1/10)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 12
第14回 (1/17)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 14
第15回 (1/31)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 14
第16回 (2/7)	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590005050	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) Input, Practice, Outputという3段階のステップで構成されたテキストを用い、段階を踏んでスピーキング力を鍛える。 (2) 語彙、リスニング、スピーキング等のエクササイズによって総合的なコミュニケーション力の向上をはかる。		
授業到達目標/Course goals	リスニング活動及びリーディング活動を行うことによってゴールのスピーキング力を鍛え、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験30%、小テスト、授業への取り組み70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前のテキストの予習(1時間/回)、次回小テストのための復習(30分/回)		
キーワード / Keywords	Input, Practice, Outputの段階を踏んだ英語学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	Speaking Steps (KINSEIDO)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/14)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 Speaking Steps: Unit 1
第2回 (4/21)	Speaking Steps: Unit 2
第3回 (4/28)	Speaking Steps: Unit 3
第4回 (5/12)	Speaking Steps: Unit 4
第5回 (5/19)	Speaking Steps: Unit 5
第6回 (5/26)	Speaking Steps: Unit 6
第7回 (6/2)	Speaking Steps: Unit 7
第8回 (6/9)	Speaking Steps: Unit 8
第9回 (6/16)	Speaking Steps: Unit 9
第10回 (6/23)	Speaking Steps: Unit 10
第11回 (6/30)	Speaking Steps: Unit 11
第12回 (7/7)	Speaking Steps: Unit 12
第13回 (7/14)	Speaking Steps: Unit 13
第14回 (7/21)	Speaking Steps: Unit 14
第15回 (7/28)	Speaking Steps: Unit 15
第16回 (8/4)	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590005051	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]本館11(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業直後またはEメール、Lacsのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	動画を視聴し、4技能のレベルアップのための演習に取り組む。特に、リスニングとスピーキング能力の向上のためのタスクを行う。		
授業到達目標/Course goals	日常生活で使用される語彙を多く身につけると共に基本的な英語の構造が理解できるようになる。視覚情報を助けにしながら会話の内容を把握し、そこで使用されている表現を応用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験 30% 中間試験30% 授業への積極的参加状況(小テスト、課題なども含む)40% 以上により60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[予習]授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h/回) [復習]教科書と配布資料で授業内容を復習し、課題に取り組む。(2h/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Live Escalate Book 3: Summit (成美堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	ある一定の回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格がなくなります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 01 Electronic Devices • Learning the name of computer-related terms and discussing a recent Internet trend: the
第2回	Unit 02 Health and Fitness • Providing ways to keep healthy and stay fit
第3回	Unit 03 On the Phone • Introducing telephone etiquette • Practicing phone English
第4回	Unit 04 Household Chores • Discussing gender and household chores
第5回	Unit 05 Environmental Protection • Talking about the environment
第6回	Unit 06 Bargaining for Fun • Introducing useful tips for bargaining • Providing practical sentence patterns for bargaining
第7回	Review 1
第8回	第1回～第6回までの復習 中間試験
第9回	Unit 07 Affinity • Introducing how different animal fathers take care of their young • Discussing parents' attitudes toward their children
第10回	Unit 08 Culture Shock • Talking about tipping culture • Introducing some travel etiquette
第11回	Unit 09 School Activities • Introducing school clubs • Talking about the benefits of being a student
第12回	Unit 10 Asking for Directions • Practicing directions • Providing practical sentence patterns for asking directions
第13回	Unit 11 Tourist Spots • Making travel plans • Introducing famous mountains around the world
第14回	Unit 12 Studying Abroad • Introducing homestay etiquette • Talking about the benefits of a homestay
第15回	Review 2
第16回	授業全体のまとめ(試験を含む)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590009050	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) ポップスの楽曲を用いた教材を使用し、英語の歌詞を聞き、読みながら英語を学習する。 (2) リスニング及びリーディングの練習を行い、文法事項も学習する。		
授業到達目標/Course goals	楽曲を聞いて歌詞を聞き取れるようになる。語彙、文法事項を学び楽曲の内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト、授業への取り組み70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前のテキストの予習 (1時間/回)、次回小テストのための復習 (30分/回)		
キーワード/Keywords	英語の曲を理解し鑑賞する。		
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Learn English with Pop Hits! (SEIBIDO)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、必ず予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席 (2回遅刻で1回欠席とみなす) で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/13)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明
第2回 (4/20)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 1
第3回 (4/27)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 2
第4回 (5/11)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 3
第5回 (5/18)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 4
第6回 (5/25)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 5
第7回 (6/1)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 6
第8回 (6/8)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 7
第9回 (6/15)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 8
第10回 (6/22)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 9
第11回 (6/29)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 10
第12回 (7/6)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 11
第13回 (7/13)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 12
第14回 (7/20)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 13
第15回 (7/27)	Let's Learn English with Pop Hits!: Unit 14
第16回 (8/3)	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590011050	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木 17:00 - 18:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語科目の目標は、一般的な社会生活をおくる上で必要な英語コミュニケーション能力の基盤となるリスニング力とリーディング力を培うための学修を行う。そのために、英語力の4技能を総合的に向上させることを目指すが、特にディクテーションを通じた、リスニングと発音の練習を中心とし、基礎的な表現力を修得する。ディクテーションや発音練習の中でさまざまな表現も合わせて学び、表現力の向上を図る。		
授業到達目標/Course goals	英語音声の基本的特徴を体系的に理解できるようになるとともに、それらを聞き取れ、発音できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のUnitの表現テスト行う。35点である。 音読課題を毎回課す。30点 参加・貢献が10点 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。 オンライン授業(オンデマンド授業)とする場合、評価方法は異なる(初回に説明します)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、前回のunitの表現テストがあるので、その準備をしておくこと(2時間/回)。 事後学習としては、学習したUnitの音声を繰り返し聞き、音になれるとともに複数回音読の練習をしてください。最後に、録音し、ファイルにてLACSから提出してください(2時間/回)。		
キーワード/Keywords	リスニング ディクテーション 音読 破裂音 摩擦音 連結 脱落 弱勢 機能語と内容語 基本英文法		
教科書・教材・参考書/Materials	配布します		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction 授業概要説明
第2回	連結1 t連結 Let it be (let it)
第3回	連結2 子音 + 母音 Top of the world (such a feelin')
第4回	脱落1 破裂音 (p, b t, d k, g) + 同じ破裂音 / 似た破裂音 Honesty (hard to find)
第5回	脱落2 語尾の破裂音 (p, b t, d k, g) Rainbow (and)
第6回	音の変化1 [d]+[j] My heart will go on (loved you)
第7回	脱落3 -ing A whole new world (shining)
第8回	ここまでのまとめ Love so sweet
第9回	脱落4 語尾の[l] Let it snow (frightful)
第10回	音の変化2 [v]+[j] Last Christmas (gave you)
第11回	脱落5 [t/d]+摩擦音[th] Let it go (let them)
第12回	音の変化3 [t]+[l] You don't listen to rock and rolls
第13回	3語の連結 Beauty and the beast (as old as)
第14回	脱落6 [nt] + [o] Count on me (count on)
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590013050	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時、またはメール、Lacsのメッセージで対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語学習のために撮り下されたドラマ映像付コースブックテキストを使用する。聴解力、語彙力の向上を目指すと共に文法事項の復習を行う。		
授業到達目標/Course goals	文法事項の復習し、問題演習の中で使用されている表現を使うことができるようになる。音声による情報をより正確に把握できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験30%、中間テスト30% 授業への積極的な参加状況 (小テスト、課題等を含む) 40% 以上により、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[予習] 授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h) [復習] 授業内容を復習して理解を深め、課題に取り組む。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	浅利庸子、他 (編著) オリーブ・グリーン: ミステリードラマで学ぶ実用英語 (CEFR-A2) (朝日出版社)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション A1編 (テキストのストーリーの前の内容) の映像視聴と内容確認
第2回	Unit 1 In the Middle of Nowhere
第3回	Unit 2 Blackmail
第4回	Unit 3 Home Sweet Home
第5回	Unit 4 Negotiations
第6回	Unit 5 Visiting Cloutier
第7回	Unit 6 At Alfie 's Place
第8回	Review 1 中間試験 (予定)
第9回	Unit 7 David in a Trap
第10回	Unit 8 Confrontation
第11回	Unit 9 Digging a Grave
第12回	Unit 10 Another Confrontation
第13回	Unit 11 Great, Now We ' re Trapped
第14回	Unit 12 It ' s Up to You, David
第15回	Review 2
第16回	授業の総括 (定期試験)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220591000150	科目番号 / Course code	05910001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	プラネタリーヘルス入門 / Introduction to Planetary Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河野 茂 / KOHNO Shigeru, 門司 和彦 / Kazuhiko Moji, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 持田 恵一 / mochida keiichi, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 津留崎 和 義 / Turusaki Kazuyoshi, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 鈴木 誠二 / Suzuki Seiji, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 石橋 知也 / Tomoya Ishibashi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	河野 茂 / KOHNO Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	河野 茂 / KOHNO Shigeru, 門司 和彦 / Kazuhiko Moji, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 持田 恵一 / mochida keiichi, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 津留崎 和 義 / Turusaki Kazuyoshi, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 鈴木 誠二 / Suzuki Seiji, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 石橋 知也 / Tomoya Ishibashi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	planetary_health_ml.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員TEL/Tel	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 11時 ~ 12時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本学は, 総合大学として各分野の高い専門性を生かし「プラネタリーヘルス」に貢献することをス ローガンに掲げている。異なる分野で活躍する複数の講師が, それぞれの視点で地球規模の課題へ の取り組み, その重要性について講義し, 環境変化と地球の健康との間にある重要なつながりを理 解させ, プラネタリーヘルスに向き合う姿勢「プラネタリーヘルスマインド」を涵養する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている ・専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている ・地球環境と社会の多様性を理解している ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	第2回目から8回目まで毎回課される課題の総合点で判断します。 (10点 x 10課題 = 100点満点のうち60点以上が合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】講義のキーワード及びテキストの該当箇所を提示するので, キーワードに関する内容を各 自, テキスト, Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に, 講義時のレポート課題に関して, 講義資料で紹介されたHPや テキストで理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) を参照すること。		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書：プラネタリーヘルス ～私たちと地球の未来のために～（丸善出版）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	「プラネタリーヘルス」というキーワードをもとにみなさんが持つ知を集積，統合して，新しい世界を次々と生み出す契機となることを願っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	泉川公一/長崎大学病院における診療業務 村田比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務 深見聡/NPO法人での実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	タイトル：プラネタリーヘルス（地球の健康）と長崎大学 講師：河野 茂 学長 講演のキーワード：長崎大学ホームページ https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/pickup/ph_0.html , http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/message/assumption/index.html
第2回	（多文化社会学部） タイトル：プラネタリーヘルスと人口、人々のウェルビーイング 講師：門司 和彦 教授 講演のキーワード：人口、人口移動、移民、幸福、倫理 テキストの該当箇所：3、8、11、17章
第3回	（環境科学部） タイトル：プラネタリーヘルスと環境科学 講師：中山 智喜 准教授，深見 聡 准教授 講演のキーワード：気候変動、大気汚染、持続可能な開発、持続可能な観光 テキストの該当箇所：（中山）4章、（深見）16章
第4回	（情報データ科学部） タイトル：プラネタリーバウンダリーと食 講師：持田 恵一 教授 講演のキーワード：生物多様性、フードテック、育種、バイオエコノミー、精密農業 テキストの該当箇所：5章 （水産学部） タイトル：海と陸を繋ぐフードシステムの未来 講師：萩原 篤志 教授 講演のキーワード：漁業と養殖、気候変動、生物多様性、流通構造、食品ロス テキストの該当箇所：5章
第5回	（医学部） タイトル：ヒトは感染症を征圧可能か？ 講師：泉川 公一 教授 講演のキーワード：微生物、新型コロナウイルス感染症、予防、ワクチン、共存 テキストの該当箇所：6章
第6回	（教育学部） タイトル：私たちを取り巻く環境と心の健康 講師：前原 由喜夫 准教授 講演のキーワード：自然、災害、都市化、適応、メンタルヘルス テキストの該当箇所：9章 （歯学部） タイトル：気候変動と健康、口腔の健康 講師：村田 比呂司 教授 講演のキーワード：気候変動、健康、気温変化、大気汚染、歯学 テキストの該当箇所：10章

第7回	<p>(工学部)</p> <p>タイトル：都市空間と自然環境</p> <p>講師：鈴木 誠二 准教授</p> <p>講演のキーワード：環境ハザード、自然生態系、気候変動</p> <p>テキストの該当箇所：13章</p> <p>タイトル：健康的かつ環境的に持続可能な都市</p> <p>講師：石橋 知也 准教授</p> <p>講演のキーワード：グリーンアーバンイズム、交通システム、地産地消、公平性</p> <p>テキストの該当箇所：13章</p>
第8回	<p>(薬学部)</p> <p>タイトル：環境汚染物質から見たプラネタリーヘルス</p> <p>講師：鳥羽 陽 教授</p> <p>講演のキーワード：化学物質汚染、健康影響、生態影響、化学物質曝露、毒性、グリーンケミストリー</p> <p>テキストの該当箇所：14章</p> <p>(経済学部)</p> <p>タイトル：プラネタリーヘルスと経済学・経営学</p> <p>講師：津留崎 和義 准教授</p> <p>講演のキーワード：GDP、ウェルビーイング、地域の持続可能性、エシカル消費</p> <p>テキストの該当箇所：15章</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / /
時間割コード / Time schedule code	20220592005550	科目番号 / Course code	05920055
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	安全で安心な社会への取組 (海洋の生物と科学) / Marine Fishes and Applied Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi, 宍倉 学 / Shishikura Manabu, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
科目分類 / Course Category	教養モジュール , 教養モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済 (夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	阪倉 (授業担当者の代表) sakakura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産増殖学研究室 (総合教育研究棟 4 階)		
担当教員TEL/Tel	阪倉 (2823)、征矢野 (850-7701)、萩原 (2830)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 5 校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物資源の生産・培養に関する原理や方法などについて、現代社会における実課題例を交えながら学ぶ。ここで挙げる実課題とは、世界的な課題のみならず、我が国有数の養殖県である長崎県の事例も取り上げる。このように、海洋と海洋生物の科学について基礎から応用まで多面的に学習することにより、幅広い教養と共に、環境と調和した持続可能な社会を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	海の生物と人との関わりを理解する。養殖に関するグローバルな動向と長崎県の位置付けも併せて理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 期末試験 (70%) 授業への参加状況 (30%) 合計で60%以上を取れた者に単位を与える。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義内容を効率良く理解するため、そして講義中になされる教員の質問に解答することができるためにも、その回に取り上げられるトピックを予習しておくことが推奨される (2h程度)。この講義で扱う分野は多岐にわたるとともに、相互に関連している。各試験の直前に復習したのでは、正確な理解を身につけることは難しいため、毎回復習すること (2h程度)。		
キーワード/Keywords	多様性・プランクトン・魚類・繁殖・生態・養殖・長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料を適宜配布する。 また、それらの一部はLACS上で公開する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	身近のニュースなどで漁業や農業関係のものにも目を向けてみましょう。 生命現象の基礎科学が応用（養殖）にどのように結びつくのかという視点を持って欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 本講義の概要 世界、日本および長崎県の養殖業について
第2回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第3回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第4回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第5回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第6回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第7回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第8回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第9回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第10回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第11回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第12回	魚類種苗生産の現状
第13回	魚類種苗生産の現状
第14回	魚類種苗生産の現状
第15回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20220593003901	科目番号 / Course code	05930039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会の追求 (安心安全の追求と経済学) / Economic Perspective of Safety and Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース 2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgaku@の後に教員共通のドメイン名をつける .		
担当教員研究室/Office	経済学部本館大角研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	安全, 安心について, 特に, ゲーム理論と不完備契約の経済学の側面から学習する .		
授業到達目標/Course goals	ゲーム理論についての基本的な知識を習得することを目標とする .		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験で評価する .		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義後に復習すること .		
キーワード/Keywords	ゲーム理論, 不完備契約		
教科書・教材・参考書/Materials	特段指定しない .		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全学モジュール1「安全で安心できる社会」を受講した学生 オンライン授業の受講に必要なWeb環境があること . 高校までの数学とミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい .		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	社会現象の背後にある人々の行動選択を考察するための経済的な手法について学習していきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (復習: 高校までの数学のテキスト, ミクロ経済学のテキストを読む)
第2回	ゲーム理論の基礎知識 (1) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第3回	ゲーム理論の基礎知識 (2) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第4回	ゲーム理論の基礎知識 (3) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第5回	ゲーム理論の基礎知識 (4) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第6回	ゲーム理論の基礎知識 (5) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第7回	ゲーム理論の基礎知識 (6) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第8回	ゲーム理論の基礎知識 (7) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第9回	ゲーム理論の基礎知識 (8) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第10回	コースの定理 (1) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第11回	コースの定理 (2) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第12回	ホールドアップ問題 (1) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第13回	ホールドアップ問題 (2) (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第14回	所有権アプローチ (復習: 講義ノートを理解する, 予習: 関連事項についての文献調査を行う)
第15回	講義のまとめ (復習: 講義ノートを理解する)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20220593004101	科目番号 / Course code	05930041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 (安心安全と経済学) / Security and Safety in Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
科目分類 / Course Category	教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymatsuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所207		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義初回に通知する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの暮らしの安全と安心を守るためにも、ある程度の経済の繁栄は不可欠です。本講義は、私たちの市場経済の原理や制度を、経済学の観点から考察することにより、安心・安全を含め現実の経済に対して体系的な考え方を鍛えることを目的とします。このために、経済と安心・安全の関係に焦点を当てながら、基礎レベルのミクロ経済学を復習し、演習も行います。		
授業到達目標/Course goals	需要曲線と供給曲線を用いた均衡分析など経済学の基本的概念や分析手法を理解して他人に分かりやすく説明し、市場や政策の評価や、政府や制度のあり方について議論ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート (40%) と授業での貢献 (60%) による。ただし、授業参加が不十分な者は失格となるので注意すること。詳細は講義初回に通知する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: テキストの関連箇所を読み分らない箇所を明確にしておくこと。担当者は発表の準備を行うこと。(2h) 復習: テキスト・資料を再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: スティグリッツ (2012) 『スティグリッツ 入門経済学 第4版』(藪下史郎ほか訳) 東洋経済新報社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	経済や企業について広い関心のある者、自発的に学習を進めていく意思のある者の受講を希望します。本講義では、学生の発表機会を多く設ける予定であるため、受講生の能動的な参加が必須であり準備負担が重くなります。このことを念頭に受講するようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	現代の経済学 (1)
第3回	現代の経済学 (2)
第4回	経済学的な考え方 (1)
第5回	経済学的な考え方 (2)
第6回	需要、供給、価格 (1)
第7回	需要、供給、価格 (2)
第8回	需要・供給分析の応用 (1)
第9回	需要・供給分析の応用 (2)
第10回	市場と効率性 (1)
第11回	市場と効率性 (2)
第12回	不完全市場入門 (1)
第13回	不完全市場入門 (2)
第14回	公共部門 (1)
第15回	公共部門 (2)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6, 火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2022/06/11 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20220593004301	科目番号 / Course code	05930043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 (大学教育学入門) / Introduction to University Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明, 松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 経済学部図書館1階ラーニングcommons		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&T Lab 爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業は、近年の大学教育に関連する問題・テーマに関する講義と、それら大学教育のテーマを題材とした読む・書く、話し合う・発表するといったアクティブラーニングの実践で構成される。大学教育に関するテーマとして、リカレント教育や生涯学習なども取り上げる。そして、学生に、教育の受け手としての受動的な視点だけでなく、大学教育を対象化し、大学が直面する問題や、大学教育と社会の関係について主体的・創造的に考える態度や技能の習得を図る。それにより、学生が能動的学習者へと成長することを支援する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の大学教育の問題点を主体的に発見し、解決策を提案することができるようになる。 2. 他の受講生とのコミュニケーション活動を通じ、他者との協働による問題発見や解決に必要な態度や技能を身につける。 3. 自身の大学での学びや就労を振り返りながら、今後の自分の大学生活や仕事について展望し、その実現のための課題と計画を立てることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題 (30%) ・授業への取り組み、毎回のミニレポート (40%) ・最終課題 (30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う (2h)。 事後学習：授業での学びをもとにレポートや課題に取り組む (2h)。		
キーワード/Keywords	大学教育学 大学教育と仕事 問題発見学習 問題解決学習 アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、毎回資料を配付します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	本科目は、担当教員が、秋田大学の教養教育科目「大学の明日をみんなで創る」で4年間、京都大学の大学院科目「戦略的コミュニケーションセミナー」で8年間、提供してきた内容や方法に創意工夫を施して開講します。秋田大学での担当科目は毎年度、「学生からの評価が高い授業」に認定されてきました。特に、大学で主体的に学んでいこうとする学生、大学教育と仕事の関連を探求している学生、大学教育を対象とした学問に興味のある学生の積極的な受講を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	大学教育に関する講義
第3回	大学教育に関する講義
第4回	演習 : 大学教育の問題について「話し合う」
第5回	演習 : 大学教育の問題について「話し合う」
第6回	演習 : 大学教育の問題について「ネゴシエーション」
第7回	演習 : 大学教育の問題について「ネゴシエーション」
第8回	大学教育に関する講義（大学教員とFD）
第9回	大学教育に関する講義（リカレント教育）
第10回	大学教育に関する講義（生涯学習）
第11回	演習 : 大学教育の問題について「ディベート」
第12回	演習 : 大学教育の問題について「ディベート」
第13回	学生コースバトル
第14回	演習 : 大学教育の問題について「パネルディスカッション」
第15回	演習 : 大学教育の問題について「パネルディスカッション」
第16回	本授業のまとめと振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594003350	科目番号 / Course code	05940033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	市民社会と法 / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	オンデマンド授業のため、LACSのメッセージでの質問をお願いします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうる身近な6つの分野について、法がどのように規律しており、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、将来皆さんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。</p> <p>この授業は、全ての回をオンライン(オンデマンド型)で行う。毎週水曜日、LACS上に1回分の授業資料を公開する。受講者の皆さんは、LACS上で講義ビデオを視聴したり、ネットで調べたことを文章にまとめたりといった課題に取り組む。この1回の授業は、課題を含めて1時間半で終了する分量を想定している。</p> <p>課題提出期限を1週間(次の週の火曜日)とするので、各自都合の良い曜日、時間帯に受講することが可能である。ただし、オンデマンド授業のため、毎回の課題の提出が出席確認を兼ね、かつ成績評価の半分を占める。約4か月間、毎週忘れず受講するには、自分で時間の管理をする必要があることを予めご理解いただきたい。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>基礎的な法の概念が理解できるようになる。</p> <p>法的な思考力を身につけて社会でのトラブルに対処できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h)</p> <p>復習 配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords	法学入門、民法、裁判員		
教科書・教材・参考書 / Materials	LACS上で資料を配布し、必要に応じて参考文献を指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは ささまざまな法分野を知り、裁判制度も概観する。
第 2 回	裁判員制度 市民が刑事裁判に参加することの意義を考え、裁判員制度への理解を深める。
第 3 回	家族と法 1 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。
第 4 回	家族と法 2
第 5 回	相続と法 1 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。
第 6 回	相続と法 2
第 7 回	ジェンダーと法 1 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているかについて学ぶ。
第 8 回	ジェンダーと法 2
第 9 回	消費者と法 1 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。
第 10 回	消費者と法 2
第 11 回	不動産と法 1 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている人は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。
第 12 回	不動産と法 2
第 13 回	事故と法 1 他人の持ち物をうっかり壊した場合に「弁償する」などという。また、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の「損害賠償」という語を教わるだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。
第 14 回	事故と法 2
第 15 回	総復習
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20220598000750	科目番号 / Course code	05980007
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 相川 忠臣 / Aikawa Tadaomi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 相川 忠臣 / Aikawa Tadaomi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>笠を負うて長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった,ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟,坂本龍馬,高杉晋作,福澤諭吉は長大OBと自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は?文化は?産業は?地域が誇るものは?原爆被災や復興は?...この講義では,そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と,そしてこの長崎大学を育み,かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって,長崎大学で学び,長崎の街で学生生活を送る諸君が,本学や長崎を誇りに思い(愛校精神),将来,地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また,多面的なものの見方,考え方があることを知り,長崎のより深い知識,理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長崎大学や長崎の歴史,文化,文学,産業の概要が説明できるようになる。 2. 多面的なものの見方,考え方があることを理解できる。 3. 歴史,文化,文学,産業の長崎独自性について意見を展開できるようになる。 4. 長崎のより深い知識,理解を発展させる学習意欲を身に付ける。 		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に,提出するレポートで評価します(100%)。授業中に配布するレポート用紙を用いること(用紙のコピーなど不正用紙の使用は採点しません)。配布時に不在の場合,レポート用紙は渡しません。授業に欠席・大幅な遅刻の場合,正当な理由を除きレポートは受け付けません。提出日に遅れて提出したレポートは受理しないか,あるいは減点します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の特性上,各回の授業内容に関するハンドアウトは当日配布になると考えられますので,通常の事前学習は難しいかもしれません。しかし,各回それぞれの授業内容に関連する分野・領域について広く予習をしておくことで授業が理解しやすいでしょう。毎回,レポートの提出となりますので,与えられた課題に対する完成度の高いレポート作成のためには授業の復習のみならず関連資料の調査が必須となります(予習2h,復習2h)。		

キーワード/Keywords	長崎大学, 長崎, 長崎学, シーボルト, ポンペ, 長崎の歴史, 長崎の文化, 長崎の産業, 世界遺産, 長崎と原爆, 長崎検定,
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布します。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	毎回の積極的な授業への出席を前提に, 受講態度や提出するレポート内容で評価します (100%)。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史, 文化など多面的に知り, 長崎大学生であることを誇りに思い, 長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることで。本科目を履修し, 長崎学により深い興味を持ち, 長崎検定などに合格することも, 学習意欲を身に付けることにつながります。 授業は基本的に講義形式で行います (一部, オンライン授業が含まれます) が, いずれも口頭やLACS・メールなどによる質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて, ハンドアウトを配布します。また, パワーポイントなども利用して理解を進めます。そのため到達目標達成度は, 2021年度ではAA, A評価が39.4%(AA18.2%, A21.2%), B評価以上は69.7%, 最低限の到達目標に届かなかった受講者は12.1%でした (失格, 欠席を除く66名中)。受講の参考にしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9/30 19:40-21:10	1) 科目の趣旨説明, 講義概要, 講義の進め方, 長崎大学の現況 (高橋)
第2回 10/7 19:40-21:10	1) 岬の教会とシーボルトの鳴滝塾 (相川・特別講師)
第3回 10/14 19:40-21:10	2) 海軍伝習と日本の近代化 (相川・特別講師)
第4回 10/21 19:40-21:10	3) ポンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習 (相川・特別講師)
第5回 10/28 19:40-21:10	2) 長崎の歴史を築いた人々~長崎の三大女傑(1) (高橋)
第6回 11/4 19:40-21:10	3) 長崎の歴史を築いた人々~長崎の三大女傑(2) (高橋)
第7回 11/11 19:40-21:10	4) 長崎の歴史を築いた人々~長崎開港・大村純忠 (高橋)
第8回 11/25 19:40-21:10	1) シーボルトが使ったくすり~19世紀長崎での薬の輸入と革新 (田中)
第9回 12/2 19:40-21:10	1) 長崎と原爆 1 (冨塚)
第10回 12/9 19:40-21:10	2) 長崎と原爆 2 (冨塚)
第11回 12/16 19:40-21:10	5) 長崎が誇る世界遺産1 (高橋)
第12回 12/23 19:40-21:10	6) 長崎が誇る世界遺産2 (高橋)
第13回 1/6 19:40-21:10	7) 長崎事始め~長崎県の日本一・世界一 (高橋)
第14回 1/20 19:40-21:10	8) 長崎文学散歩, 長崎の歴史散策紹介 (高橋)
第15回 2/3 19:40-21:10	9) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ (高橋)
第16回 2/10 19:40-21:10	予備日

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20220598000950	科目番号 / Course code	05980009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	現代の経営 / The Practice of Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 麗桂 / LIN Ligui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 麗桂 / LIN Ligui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 麗桂 / LIN Ligui		
科目分類 / Course Category	選択科目, 全学モジュール 科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lilty1210 nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Emailにて随時ご相談		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義は、経営書の古典を読みながら、経営学の背景および基本的理論枠組みについて学ぶことを目的にする。		
授業到達目標/Course goals	1)現代経営に関する基礎的な知識および考え方を身につけている。 2)現代経済社会における諸現象や仕組みについて、経営学の思考方法から分析できるようになっている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への参与度 : 10% 中間レポート : 30% 最終レポート : 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 : 配布されるレジュメ、教材などの講義資料に目を通し、資料に提示した事例およびわからない用語について参考書やインターネットなどを活用して調べておくことが求められる(2h)。 復習 : 講義で学んだ理論や事例について自ら整理したりまとめることによって理解を固めることが求められる(2h)。		
キーワード/Keywords	マネジメント、事業、事業目標、組織構造、組織文化		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし。担当教員が教材を配布する。 参考書 : 1) P.F. ドラッカー (著) 上田惇生 (訳) (2006) 『現代の経営』 「上」 ダイヤモンド社 2) 榊原清則 (2013) 『経営学入門』 「上」「下」 (第2版) 日経文庫		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	インタラクション：履修者数を確認の上、講義内容と方法を説明する。
第2回	著者の紹介、マネジメントの概念と役割
第3回	マネジメントの領域
第4回	事業とは
第5回	事業のマネジメントとイノベーション
第6回	事業における重要なこと
第7回	事業の目標設定と管理 1 / 2
第8回	事業の目標設定と管理 2 / 2
第9回	事業に関わる生産の概念とマネジメント（中間レポート課題を提示する）
第10回	経営管理者のマネジメント：事業の分権化と組織の構造化
第11回	経営管理者の自己管理による目標管理
第12回	経営管理者のあり方と育成 1 / 2
第13回	経営管理者のあり方と育成 2 / 2
第14回	組織の文化
第15回	まとめ（最終レポート課題を提示する）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20220598001150	科目番号 / Course code	05980011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	リスクマネジメントと安全文化 / Crisis Management and Safety		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 秀千人 / hayashi hidechito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 秀千人 / hayashi hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 秀千人 / hayashi hidechito		
科目分類 / Course Category	選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidechito_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階流体エネルギー研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日1730-1800		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	安全、特に物を提供する立場からの考え方を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<p>リスクマネジメントの基本となるリスクの列挙と分類の考え方が理解できる。 具体手になりリスク列挙ができる。 安全文化の考え方が理解できる。 安全文化について、人に説明ができる。 安全について実践を試みることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の演習50%、宿題50%にて評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回に配布したプリントをつうじて、次回の内容との関連を深めるために、しっかりと必ず復習をすること(事前2h、事後2h)		
キーワード/Keywords	安全、安心、リスク、リスク列挙、リスクマネジメント、安全文化		
教科書・教材・参考書/Materials	資料をLACSにアップしますので、各自ダウンロードしてください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1/15	講義全体の概略説明
2/15	安全の基本的な考え方。安全のおモジュール1の復習。
3/15	具体的な事例をもとに、その分析を行う。
4/15	前回の内容をプレゼンテーションして、みんなで議論する。 事例の原因、関連項目の列挙。
5/15	前回の内容をプレゼンテーションして、みんなで議論する。 事例の原因、関連項目の列挙。その2
6/15	過去の事例からの、原因及び分類法についてまとめる。その1
7/15	過去の事例からの、原因及び分類法についてまとめる。その2
8/15	過去事例のリスクの系統図を作成する。
9/15	過去事例のリスクの系統図を作成する。その2
10/15	安全文化の概要
11/15	安全文化に関する事例の調査
12/15	安全文化に関する事例の調査。その2
13/15	安全文化に関する事例の調査。その3
14/15	安全を担保するためにすべきことのまとめ。
15/15	安全を担保するためにすべきことのまとめ。ディスカッション